



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	井川 純一		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 4		
講義室	1315	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 3－G（状況把握力・判断力）自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4－F（探求力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4－I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5－J（創造的挑戦力・達成力）コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 D P 8－M（省察力）知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探求と論拠（1 5 %） F 2 課題解決（1 5 %） G 1 状況把握（2 0 %） I 1 理解・分析と読解（1 0 %） I 2 量的分析（1 0 %） I 3 情報分析（1 0 %） J 1 継続的学修基盤（5 %） J 2 創造的思考（5 %） M 1 総合的・応用的学修（1 0 %）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。 授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するため、オンライン授業を一部取り入れる場合があります。		

	す。 (キーワード) 研究、省察、反省的实践								
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践 ■授業の目的 学習した内容を基に自身もしくはグループで研究計画の立案を行い、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■授業のポイント 研究の進め方について冬季競技種目、および測定競技系・循環運動種目・持久系種目を中心とした分野・領域の研究方法を学修します。 文献研究に基づく研究計画作成から、予備的調査・測定・実験などを実施し、プレゼンテーションに至る演習を通してコーチング学に基づく実践的研究方法を段階的に学修して行きます。								
総合到達目標	■冬季競技種目、および測定競技系・循環運動種目・持久系種目を中心とした研究方法を文献的検討により理解し、研究計画を作成する。さらに、研究計画に基づく調査・実験・測定から結果のプレゼンテーションに至る演習により、コーチング学に基づく実践的研究方法を修得する。 ・コーチング学研究法演習で学修した研究の意義を説明し、研究領域を類別することができる。(第2回) ・文献検索による先行研究に基づき、研究方法や明らかになっている内容について他者と討議し、説明することができる。(第3～4回) ・文献検索結果に基づき、自身の研究計画を説明することができる。(第5～6回) ・自身の研究計画に即した予備調査・実験・測定を実施し、データの収集からデータベースの作成を実施することができる。(第7～9回) ・予備調査・実験・測定結果に基づき、PCや視聴覚機器を利用したプレゼンテーション資料の作成を実施することができる。(第10～12回) ・PCや視聴覚機器を用いたプレゼンテーションを実施し、他者との討議を通して、予備調査・実験・測定結果を系統立てて説明できる(第13～15回)								
成績評価方法	■リアクションペーパー(40%) 適用ループリック G1、J1、J2 (評価の観点) 研究方法、文献研究、計画書作成、予備的データ収集に関する当該授業内容について、授業終盤にリアクションペーパーの記載を行い内容の評価を行います。 (フィードバックの方法) リアクションペーパー提出後に授業内容、および訂正や追記内容など関る振り返りを行います。 ■プレゼンテーション(60%) 適用ループリック F1、F2、I1、I2、I3、J1、J2、M1 (評価の観点) 自身またはグループの研究計画、および予備的調査・測定・実験結果を発表し、内容の評価を行います。 (フィードバックの方法) 各発表後に訂正、追加項目を含めた解説と講評を行います。								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	自然科学の方法が自身の競技経験(実践知)だけでなく、文献研究によって得られる知識(理論知)に基づくものであることをよく理解して下さい。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。(G1、I1) ③予習(120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(120分) ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 コーチング学研究法演習で展開された研究の意義や、その領域について再度確認し、自身およびグループでのゼミナールでの研究領域やその研究方法について検討する。(F1、F2、I1) ③予習(120分) コーチング学研究法演習の研究の概要に関する授業資料を読み返し整理しておく。 ④復習(120分) 自身およびグループでのゼミナールにおける課題に対する適切な研究方法について検討しておく。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F1、F2、I1、 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。(G1、I1) ③予習(120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(120分) ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。	2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 コーチング学研究法演習で展開された研究の意義や、その領域について再度確認し、自身およびグループでのゼミナールでの研究領域やその研究方法について検討する。(F1、F2、I1) ③予習(120分) コーチング学研究法演習の研究の概要に関する授業資料を読み返し整理しておく。 ④復習(120分) 自身およびグループでのゼミナールにおける課題に対する適切な研究方法について検討しておく。	3	①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F1、F2、I1、
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。(G1、I1) ③予習(120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習(120分) ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。								
2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 コーチング学研究法演習で展開された研究の意義や、その領域について再度確認し、自身およびグループでのゼミナールでの研究領域やその研究方法について検討する。(F1、F2、I1) ③予習(120分) コーチング学研究法演習の研究の概要に関する授業資料を読み返し整理しておく。 ④復習(120分) 自身およびグループでのゼミナールにおける課題に対する適切な研究方法について検討しておく。								
3	①授業テーマ 文献研究① ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F1、F2、I1、								

	I 2、I 3) ③予習 (120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習 (120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
4	①授業テーマ 文献研究② ②授業概要 先行研究に関する文献を精読し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる。(F 1、F 2、I 1、I 2、I 3) ③予習 (120分) 自身もしくはグループの課題に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習 (120分) 自身の選んだ文献の研究手法や結果について、自身もしくはグループの課題に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
5	①授業テーマ 文献研究に基づく研究計画書作成① ②授業概要 文献研究に基づき、コーチング学の観点からみて妥当性や実践性の高い研究計画を作成することができる。(F 1、F 2、G 1、I 1、I 2、I 3) ③予習 (120分) 文献研究により得られた情報を整理する。 ④復習 (120分) 授業内容を踏まえ、文献研究結果とコーチング学の観点からみた妥当性や実践性を再度、照合し、研究計画を精査する。
6	①授業テーマ 文献研究に基づく研究計画書作成② ②授業概要 文献研究に基づき、コーチング学の観点からみて妥当性や実践性の高い研究計画を作成することができる。(F 1、F 2、G 1、I 1、I 2、I 3) ③予習 (120分) 文献研究により得られた情報を整理する。 ④復習 (120分) 授業内容を踏まえ、文献研究結果とコーチング学の観点からみた妥当性や実践性を再度、照合し、研究計画を精査する。
7	①授業テーマ 予備的調査・測定・実験とデータ収集① ②授業概要 研究計画に即した調査・実験・測定などを予備的に実施し、データの収集を実践することができる。(F 2、I 1、I 2、I 3、J 2) ③予習 (120分) 研究計画に即した調査・実験・測定方法を確認する(Excelによるデータベース作成方法、データ処理方法の確認を含む)。 ④復習 (120分) 授業で実施した調査・実験・測定からデータ収集に至るプロセスを振り返り、問題点や課題を整理する。
8	①授業テーマ 予備的調査・測定・実験とデータ収集② ②授業概要 研究計画に即した調査・実験・測定などを予備的に実施し、データの収集を実践することができる。(F 2、I 1、I 2、I 3、J 2) ③予習 (120分) 研究計画に即した調査・実験・測定方法を確認する(Excelによるデータベース作成方法、データ処理方法の確認を含む)。 ④復習 (120分) 授業で実施した調査・実験・測定からデータ収集に至るプロセスを振り返り、問題点や課題を整理する。
9	①授業テーマ 予備的調査・測定・実験とデータ収集③ ②授業概要 研究計画に即した調査・実験・測定などを予備的に実施し、データの収集を実践することができる。(F 2、I 1、I 2、I 3、J 2) ③予習 (120分) 研究計画に即した調査・実験・測定方法を確認する(Excelによるデータベース作成方法、データ処理方法の確認を含む)。 ④復習 (120分) 授業で実施した調査・実験・測定からデータ収集に至るプロセスを振り返り、問題点や課題を整理する。
10	①授業テーマ 発表準備① ②授業概要 研究計画と予備的調査・実験・測定結果のプレゼンテーション資料を作成することができる。(G 1、F 2、I 1、J 2) ③予習 (120分) 解り易いプレゼンテーション資料の作成方法を確認する(Power Pointによるプレゼンテーション方法の確認を含む)。 ④復習 (120分) 授業でのディスカッションなどを振り返り、プレゼンテーション資料の問題点や改良点を整理する。
11	①授業テーマ 発表準備② ②授業概要 研究計画と予備的調査・実験・測定結果のプレゼンテーション資料を作成することができる。(G 1、F 2、I 1、J 2) ③予習 (120分) 解り易いプレゼンテーション資料の作成方法を確認する(Power Pointによるプレゼンテーション方法の確認を含む)。 ④復習 (120分) 授業でのディスカッションなどを振り返り、プレゼンテーション資料の問題点や改良点を整理する。

	12 ①授業テーマ 発表準備③ ②授業概要 研究計画と予備的調査・実験・測定結果のプレゼンテーション資料を作成することができる。(G 1、F 2、I 1、J 2) ③予習(120分) 解り易いプレゼンテーション資料の作成方法を確認する(Power Pointによるプレゼンテーション方法の確認を含む)。 ④復習(120分) 授業でのディスカッションなどを振り返り、プレゼンテーション資料の問題点や改良点を整理する。
	13 ①授業テーマ 発表① ②授業概要 研究計画と予備的調査・実験・測定結果のプレゼンテーションを実施することができる。(F 1、F 2、I 1、J 1、J 2、M 1) ③予習(120分) プレゼンテーション資料を整理し、解り易い説明方法を確認する。 ④復習(120分) 授業でのプレゼンテーション(他の学生から質問や教員による指摘など)を振り返り、問題点や改良点を踏まえた資料を再度、作成する。
	14 ①授業テーマ 発表② ②授業概要 研究計画と予備的調査・実験・測定結果のプレゼンテーションを実施することができる。(F 1、F 2、I 1、J 1、J 2、M 1) ③予習(120分) プレゼンテーション資料を整理し、解り易い説明方法を確認する。 ④復習(120分) 授業でのプレゼンテーション(他の学生から質問や教員による指摘など)を振り返り、問題点や改良点を踏まえた資料を再度、作成する。
	15 ①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を整理することができる。(F 2、J 1、J 2、M 1) ③予習(120分) 文献研究に基づく研究計画書作成から、予備的調査・測定・実験の実施、さらにプレゼンテーションに至る問題点や課題を整理する。 ④復習(120分) ゼミナールⅠを踏まえたゼミナールⅡのテーマを設定する。
関連科目	コーチング学研究法演習(SSCS2317S)、ゼミナールⅡ(SSCS4606S)
教科書	特に指定しません。
参考書・参考URL	青木純一郎他編：高地トレーニングの実践ガイドライン，市村出版，2011，ISBN 978-4-902109-25-2 中野昭一他編：運動とエネルギーの科学，杏林書院，1996，ISBN 4-7644-1030-3 石井清一他編：スキーの医学，南江堂，1995，ISBN 4-524-20994-8 山地啓司著：最大酸素摂取量の科学，杏林書院，1992，ISBN 4-7644-1023-0
連絡先・オフィスアワー	オフィスアワー 開講時に告知します。 オフィスアワー以外の時間は事前に日時を調整し、研究室、またはコモンスペースで対応します。
研究比率	

